

きゅうりのブルームレス台木品種「ひかりパワー」の特性

野菜花き部・南部分場

1. 背景とねらい

本県のきゅうり栽培は、露地夏秋どり作型を中心として行われており、最近では、ブルームレス台木の導入により、高品質のものが生産出荷されている。ブルームレス台木品種は多数発表されており、品種の選定と栽培法の確立が求められている現状にある。

昭和63年度指導上の参考事項に「ひかり1号」の特性をとりあげたが、さらに検討した結果、「ひかりパワー」が有望と認められたので、その特性を参考に供する。

2. 技術の内容

1) 台木品種「ひかりパワー」の特性

- (1) 種子は、「黒ダネ」なみの大きさであり、胚軸は「ひかり1号」等、従来の1号タイプよりも太い。
- (2) 露地夏秋どり作型・ハウス抑制作型において、全期を通じて、果実にブルームの発生がみられない。
- (3) 果実の品質割合では、良果率が高い。
- (4) 果実の太さは「黒ダネ」より細いが、ブルームレス品種のなかでは太めである。
- (5) 果色は、「ひかり1号」よりやや濃緑である。
- (6) 果実の光沢は、「ひかり1号」に比較して、やや弱い。
- (7) 総収量は、露地夏秋どりでは、「黒ダネ」に次いで高く、「ひかり1号」と同等もしくはそれ以上である。ハウス半促成では、「ひかり1号」に劣る。

2) 適応地域および適応作型

適応地域：県下全域 適応作型：露地夏秋どり・ハウス抑制

3. 指導上の留意事項

- 1) 台木のは種は、きゅうりより、露地・ハウス抑制作型とも2日程度早める。
- 2) 第1果は、9～10節から着果させ、側枝は6～7節まで除去し、初期の生育を確保する。
- 3) 側枝の発生は、「黒ダネ」よりやや少なく、中段の側枝は2～3本放任とし、草勢の維持を図る。

4. 当該事項にかかる試験研究課題名

夏秋きゅうりの優良台木利用による良品生産技術

5. 参考文献 省略

6. 試験成績の概要

1) 試験方法

(1) 露地夏秋どり作型 (園試本場)

①台木品種 表参照

②熱木品種 南極1号

③は種期および定植期(穂木) 5月1日(台木) 4月28日(定植期) 6月2日

④栽植様式 うね幅 280cm 株間60cm 2条植 主枝1本立 (119株/a)

⑤施肥量 (kg/10a) 厩肥 4,000 N 15+24 P₂O₅ 30 K₂O 15+15

2) 具体的データ

表-1 特性表

品 種 名	項 目	苗 胚 軸 の 太 さ	果						実 色		
			ブルーム発生程度			果 型			果 色		
			7月	8月	9月	7月	8月	9月	7 月	8 月	9 月
(標) 黒ダネ ひかり ひかり 輝 1 一 輝 き ら ス ー	ネ号一虎 号き竜 雲	太細中細中中中	全 な な な な な な な	全 な な な な な な な	少 な な な な な な な	太 細 太 普 通 普 通 普 通	太 細 太 普 通 普 通 普 通	太 細 普 通 太 通 普 通 普 細	濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑	濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑	濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑 濃 緑

光 沢			草勢	収 量 性 (kg/a)		総合評価
				総 収 量 (良+曲)	良 果 収 量	
7月	8月	9月				
なし	なし	なし	強	1,166.3(100)	683.1(100)	—
強	強	普通	中	993.7(85)	580.7(85)	○
中強	普通	普通	中強	1,124.6(96)	693.8(102)	○
中強	中強	中強	中強	972.2(83)	590.2(86)	○
普通	普通	普通	中	916.3(79)	567.6(83)	△
中強	中弱	中弱	中	909.2(78)	524.8(77)	△
普通	中弱	中弱	中	747.3(64)	437.9(64)	×